

検討会での指摘事項と施設整備長期構想（案）への反映方針

No.	検討会での指摘事項など	施設整備長期構想への反映
1	費用負担や収益などの根拠	収益や費用負担の見通し条件については、現状を基準として想定しており、今の収入が維持できるのであれば、実施可能であると考えていることから、これらを前提条件として記述を追加する。
2	ダウンサイジングにおける効率性（稼働率との関係）	「効率性」、非常時だけでなく平常時の「安定性（余力の確保）」、「ユニットごとのダウンサイジング」、「マクロ的な最適化とミクロ的な最適化」などをキーワードとして記述を追加する。
3	停電対策の考え方	最大想定 of 停電に対応するための最大の整備を想定しており、停電対策に関する記述を追加する。 ※優先度の高い整備メニューという認識
4	非常時対応（レジリエンス）の考え方（リスク対策方針） 整備した施設の運転管理や維持管理 財政面や経営面の見通し 構成市との関係（広域化など） 計画の遅れ、前提条件やクライテリア（判断基準）の変化などへの対応	施設整備長期構想で取り扱わない項目については、今後の課題として整理する。
5	用語の使い方の統一 「5期のみなし耐震化」の位置付けなど システムフロー図の表記方法がわかりにくい 整備工程の効果としてのシミュレーション結果の見せ方（整備レベルによる効果の違い）	用語の調整、言葉の定義、図表の見易さ、結果の見せ方などを整理する。